

Ambitious

アンビシャス100人の仕事

2025年春夏号

Vol.24

高校生の進路と向き合う

公務員

国際・物流

IT・メディア・モノづくり

くらし・生活

医療・生命

キャリア教育マガジン

37人の
先輩が登場

「好き」「楽しい」が、進路選びにつながる理由。

事件の真相解明につとめる

アイデアをかたちに、想いを言葉にする

人道危機下の「人」の姿を伝える

商品の販促提案

鉄道の安全運行を維持する

AIの音声認識技術開発

再生医療の発展を考える

表紙撮影協力：東京農工大学(2025年撮影)

立教大学法学部を志し、 挑戦し続けた大学生活

公正取引委員会

事務総局 審査局 管理企画課 情報管理室
https://www.jftc.go.jp/

立教大学

法学部 国際ビジネス法学科 卒業

江村 玲奈さん



豊富な学びの場に魅力を感じ 選択した立教大学

高校時代、私は漠然と法律に携わる仕事をしたいと思っていました。大学選びの過程で法学部について調べるうちに、法律への興味がどんどん増していき、最終的に法学部を目指すことを決めました。数多くある大学から立教大学を選んだ理由は、私の高校の先輩が立教大学の法学部に在籍し、法律関係の仕事をしていたことが大きな要因です。先輩の話が非常に参考になり、ゼミの豊富さや職業選択の幅広さに魅力を感じて、私も同じ大学に進学したいと思いました。

留学とゼミ活動で広がる世界

大学生活の中で印象に残っているのは短期の海外留学です。中国に約1カ月間の語学留学に行きました。当時の私は恥ずかしがり屋で、なかなか自分から話しかけることができませんでしたが、現地の学生が話しかけてくれたおかげで、自分からも少しずつ声をかけて会話の練習を始めることができました。この経験を通じて、失敗を恐れずに積極的に行動することの大

挑戦

切さを学びました。そして、帰国後は自分の意見を積極的に発言するようになりました。私にとってこの留学経験は非常に重要な学びの一つです。また、アジア政治等に関するゼミでは、チームでの調査を通じて、チームワークや他人の意見を尊重することも学びました。こうした経験は、将来のキャリアにも大きな影響を与えています。また、立教大学では課外活動なども盛んで、学内外で多くの人と交流する機会が豊富にあり、多様な価値観に触れることができたことも大きな財産です。それは視野を広げるだけでなく、人間関係の構築にも大いに役立っています。

公正取引委員会での 仕事の魅力とチームワーク

現在、私は公正取引委員会で働いています。日々、多くの事業者や行政、一般消費者から独占禁止法に違反している疑いのある情報を収集し、その情報を基に調査を行います。この仕事の一番の魅力は、様々な業界の人々と関わりながら、新しい知識を学べることです。独占禁止法の適用対象が非常に広いため、常に新しい学

びに触れることができるのがこの仕事の醍醐味です。また、チームでの議論や意見交換が多く、黙々と一人で作業することはあまりありません。社内では常に多様な意見が飛び交い、活発な議論が行われています。こうした横のつながりやコミュニケーションが仕事の質を向上させる大きな要因となっています。まさに、学生時代に培ったチームワークのスキルや積極的な姿勢が、現在の職場でも非常に役立っています。

学生の皆さんへ

「わからなくて当たり前! 恥ずかしがらずにどんどん挑戦しよう!」というメッセージを送ります。例えば就職活動中の会社説明会ではどんどん質問してみてください。自分の初歩的な質問にも真摯に答えてくれる先輩がいる職場は、仕事を始めてからも質問しやすい環境が整っていると思います。そのような環境であれば、壁が立ちはだかって頑張れるはずですよ。大学時代の挑戦が今ある自分の殻を破り、未来を切り開きます。頑張ってください!

法の知識で、
国境を越えたビジネスを支える

【入学センター】03-3985-2660



@rikkyouniv



@rikkyouniv



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY



挑戦し続けられる力を得るため 何事にも全力で取り組む

経済産業省 特許庁

総務部普及支援課

<https://www.jpo.go.jp/>

法政大学

文学部 日本文学科 卒業

小高 絢子さん



逆境こそ 楽しもう!

人としての成長を実感 全力投球した応援団

私の大学生活は法政大学応援団吹奏楽部で成り立っていたと言っても過言ではないです。法政大学はスポーツにも注力している大学であったので、応援団も体育会系の部活と同じくらい忙しく、土日・祝日は応援、平日は学部の勉強と、両立は大変でした。しかしそれ以上に学べたことが多く、特に4年生で務めた吹奏楽部の演奏会の運営・企画責任者としての経験は人としてとても成長できました。演奏に加え、後輩への指導や演奏会全体のマネジメントも担い、進捗管理の難しさを感じながらも、周囲の状況に気を配り、物事を円滑に進める力を身につけることができました。そして何よりも、人を応援することがその人の力になるだけでなく、誰かを応援できること自体が人としての素晴らしさであると感じました。

挑戦と憧れがそう場所

私は元々公務員を目指していましたが、応援団に入ってからはいきなりその想いが強くなりました。もちろん、応援団では不得意なことも乗り越えなければ

ならない場面も多く経験しました。しかし、困難な壁を乗り越えたときこそ成長を感じることができましたし、この経験を活かしたいと思い、いろんな省庁の説明会等に参加し、そこで特許庁と出会いました。ものづくりに興味があったのもそうですが、特許庁を志望した一番大きな理由は、当時の採用イベントで、女性職員の方に魅了されたからです。そのイベントでお会いした彼女は特許庁の仕事を楽しんでいるように見え、まさに“キラキラ”と輝いているように見え、その姿に虜になりました。自分もこの女性のようにいたい、働くなら特許庁しかない、と思うようになりました。

応援団で得た学びが生きる

私は現在、地域および中堅・中小企業の知財活用を支援するための業務に携わっています。地域や中堅・中小企業以外にも、支援する側の方達とのやり取りも多く、地域の声を丁寧に拾い上げ、それをどのように政策に反映出来るかを、上司や部下、周りのメンバーと協力しながら日々試行錯誤しています。このような対人業務の中で、応援団時代の経験が大きく活きています。

特に知財の普及啓発イベントの開催における会場レイアウトやスケジュールの確認において、起こり得るリスクや抜け漏れにいち早く気づくことが出来ています。演奏会という大きなイベントの責任者として、進行管理や段取りを徹底してきた経験が、今の業務においても現場感覚を持った確認力につながっていると実感しています。

逆境を楽しむ

私のモットーは“逆境こそ楽しめ”です。この先、乗り越えなければいけない場面を何度も経験すると思います。しかし、困難な状況だからこそ自分の糧となるものが得られるものです。苦しい局面に陥ってしまったら、それを楽しむことに挑戦して成長に繋げてほしいと思います。



どんな業務でも“絶対にやりきるぞ”という気持ちを持つことを大切にしています。

少人数教育で本物の国語力を

【入学センター】03-3264-9300



@hosei_admission



@hosei_admission



@hosei_nyushi



法政大学
HOSEI University



漠然とした憧れから見つけた 自分のやりたい仕事

人事院

関東事務局総務課研修係
https://www.jinji.go.jp/

駒澤大学

経済学部 経済学科 卒業
佐藤 汰紀さん

果敢に



勤務環境を改善したいと 目指した人事院

国家公務員を目指した理由は「響きがかっこいい」という漠然としたものからでした。人事院の仕事内容は国家公務員の給与・待遇の決定や公務員の採用試験の実施、勤務環境の改善など多岐にわたります。その中で興味をもった業務は、国家公務員の勤務環境の改善です。大学2年生のときに受けた人口論の授業で20～30代の子どもの持たない家庭にアンケートをとった際、経済的な理由や仕事と育児の両立の難しさから子どもを持たない家庭が増えている現状を知ったのです。その現状は日本の少子高齢化の一因となっていることを改めて認識しました。国家公務員の勤務環境を変えることが民間企業の勤務環境を変える良い影響となるのではないかと、日本の課題である少子高齢化を解決できるのではないかと考え、人事院に就職しました。

柔軟な思考で主体的に 問題解決ができる環境

私は現在、人事院関東事務局総務課研修係で働いています。ここでの主な

業務は、各府省や国家公務員向けの研修の運営補助などです。外部から講師を招いたり、研修がスムーズに行えるよう打ち合わせをしたりしています。国家公務員は国の仕事ということでなかなか意見が通りにくいイメージでしたが、私の部署は係長と私の2人体制のため、自分の意見やアイデアを柔軟に出せる環境です。提案したことがうまく進み、職務を効果的に遂行するための研修がより活発的になったときにやりがいを感じます。

コロナ禍の学生時代、 葛藤を乗り越えた先に

私は2020年に駒澤大学経済学部に入學しましたが、コロナ禍のため最初の2年間は基本的にオンライン授業でした。駒澤大学の経済学部に入學した理由も「金融業界に興味があった」とざっくりしたものであったため、オンライン授業はモチベーション維持が難しかったのを覚えています。しかし、駒澤大学は生徒たちの自主性を重んじる講義が多く「自ら考えて行動する精神」が培われました。その結果、独学で国家公務員試験を学んだり、さまざまな資格を取得したりすることができました。また、

駒澤大学は7学部ありますが「ワンキャンパス」のため、学部を超えた友人との出会いが自然に生まれ、多様な価値観に触れる事ができた経験は、就活の際にとても力となりました。

知りたいと思う気持ちを大切に

学生の皆さんには「自分が興味ある事はとことん突き進み、興味のないことでも好き嫌いせずに挑戦してください!」と伝えたいです。私は、大学進学のとくも進路を選択するときも何に興味があるかずっと模索していました。人事院への就職のきっかけとなった人口論の授業も、はじめは興味があったわけではありませんでした。しかし、学んでいくうちに「もっと知りたい」という探求心が生まれ、自分がしたいと思える仕事を見つかることができました。興味のないことこそ、積極的な姿勢で臨んでみてください。



自分のしたい仕事ができる環境で働ける喜び

7学部17学科が世田谷のワンキャンパスに集う
都市型大学

【入学センター】03-3418-9048



@komazawa_adm



@Komazawa_nyugaku

しなやかな、意思。
駒澤大学



貪欲に学び続ける姿勢をもって 環境政策を担いたい

働く

環境省職員

環境省

環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室
<https://www.env.go.jp/>

明治大学

農学部 生命科学科 卒業

浅井 佑香さん

向上心の スイッチ

好きな植物や生物をとことん 学べる環境へ

私は幼少期の頃から生物や自然に興味がありましたが、中学・高校時代に受けた理科や生物の授業を通してより深い関心を抱くようになりました。特に生物の体内で繰り広げられるミクロな仕組みや見えないほど小さな微生物による大きな働きなど、生物学のダイナミックな奥深さに魅力を感じました。より深く生命の不思議を探求したいと思い、それらを学ぶことのできる明治大学農学部生命科学科に進学しました。

環境問題への危機感

生命科学に関心を抱く一方で、中学時代に島国のツバルに関する本を読み、島が海面上昇によって沈んでしまうことに衝撃を受けたことをきっかけに、環境問題にも興味を抱いていました。大学では他学科で開設している講義に出席して環境問題について学んだり、環境ボランティア活動に参加し、子どもたちが楽しみながら環境について学ぶことのできるワークショップを実施したりしました。

専攻以外にも大学で様々な学びや経験をしたからこそ、環境問題に真正面から向き合うことを自らの仕事としたいという軸を明確化することができました。

安心して未来に残せる 持続可能な社会に貢献したい

環境問題に取り組む仕事を軸に、民間企業も含めて就職活動をしていた中で、課題に真正面から向き合う国家公務員の姿勢は自らの目指す姿と重なりと感じ、国家公務員への道を視野に入れました。その中でも環境省は環境問題へのアプローチを軸として、政策を通じて社会全体に影響を与えられる場所だと感じ、環境省に入省しました。現在は循環型社会形成推進基本計画や循環経済の国際ルール形成事業等の担当として、循環経済への移行に向けた施策に携わっています。日々の窓口業務で行っている関係者との調整等については、学生時代の課外活動での調整係としての経験が生かされていると感じます。毎日学ぶことが沢山あり、これが難しい点でもあり醍醐味でもあります。向上心を

大切に、政策面から持続可能な未来に貢献できる人を目指し、今後も邁進していきたいです。

楽しむ姿勢を大切に

これから将来のことを考えていく学生の皆さんに伝えたいことは、今取り組んでいることをとことん楽しんでほしいということです。その中で特に自分がときめきを感じたことは将来進む道のヒントになると思います。ぜひときめきを大切に捉え、前向きにチャレンジしてみてください。応援しています！



環境政策をリードできる人となることを目標に、日々仕事に励んでいます。

生命のしくみを探究し、
人と生き物の未来を考えよう！

【入試広報事務局】03-3296-4139

X @meijiexam

LINE @meijiexam



明治大学



関連キーワード 国家公務員 環境省 環境・資源

働く

検察庁職員

関連キーワード 法務省・検察庁・公務員・法律

法の力で 市民の平和を守る仕事

さいたま地方検察庁

交通部

<https://www.kensatsu.go.jp/kakuchou/saitama/index.html>

専修大学

法学部 法律学科 卒業

隅倉 瞳さん



**高校生のときから憧れだった
法律の世界、「公平中立に法律を
適用する仕事ってカッコいい!」**

専修大学法学部法律学科を卒業後、さいたま地方検察庁交通部で働いています。高校の政治・経済の授業で法律に興味を持ったことが、私の進路選びの原点です。もともと公務員を志していたこともあり、法律についてしっかり学びたいと思い、いくつかの大学を受験した中で縁のあった専修大学法学部に進学しました。専修大学の神田キャンパスは都心であって、おいしい食堂もあり、とても便利で楽しかったです!大学では法律の基礎から実際の社会との関わり方まで、幅広く学ぶことができました。公務員向けの説明会に参加したとき、検察庁の方の「公平中立に法律を適用して、市民の安全を守る」というお話にとても感動し、率直に「カッコいいな」と感じ、自然とその道をめざすようになりました。

**現場で発揮される、大学時代に
培った「根拠を確認する力」**

専修大学で法律を学ぶなかで特に身についたのは、「根拠を確認する」とい

輪と
繋ぐこと

検察庁
検察庁
組察所

う姿勢です。授業では、条文や判例などをもとに、「なぜその法律が適用されるのか」を常に意識するよう指導されました。この習慣は、今の仕事にそのまま活かしています。現在私が所属しているさいたま地方検察庁交通部では、検察官とともに交通事件の捜査にあたっています。立会事務官という立場で、検察官の取調べに同席し、供述調書を作成したり、必要書類の作成や関係機関との調整をしたりする業務を行っています。法律に関わる書類を扱う上で、条文の意味や使い方を正しく理解し、確認しながら進める姿勢がとても大切です。大学時代は、接客のアルバイトをしていたこともあり、わかりやすく伝える力が自然と身につきました。現在、被害者の方と接する場面でもその経験が活かしています。

**知識と知識がつながる瞬間、
自分の成長を実感!**

今は交通事件を中心に担当していますが、以前の部署では窃盗や住居侵入などの一般事件にも関わっていました。過去に学んだ法律知識が、違う事件の捜査や書類作成の場面で活かせることがあり、「自分の中で知識が

つながった」と実感できた瞬間にやりがいを感じます。法律は毎年のように施行や改正があるため知識のアップデートは欠かせません。参考資料を確認したり、先輩に相談したりしながら、常に最新情報を取り入れています。また、検察官や被害者、関係機関など、多くの方と関わる仕事なので、臨機応変な対応もとても大切です。

**自分の気持ちに真っ直ぐに、
「興味のあること」に飛び込んで!**

学生のみなさんには、「将来のため」だけでなく「自分が興味を持てるかどうか」を大切に進路を考えてほしいです。私も「法律を学びたい」という気持ちが今の仕事の出発点になりました。みなさんも自分の心に耳を傾けて、是非挑戦してみてください。



法の力で市民の平和に貢献できる喜び

専修大学



創立145周年を迎える、
社会・人文科学系の総合大学

【入学センターインフォメーション】03-3265-6677



@senshu_univ_ao



@senshu-u

専修大学



好奇心と行動力が導いた 公務員の世界

練馬区役所

環境部 みどり推進課 協働係

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/>

専修大学

経済学部 経済学科* 卒業

※経済学科は2020年度入学者から

現代経済学科と生活環境経済学科に再編

野末 侑甫さん



練馬区



人の暮らしを支え豊かに。

大学時代の専攻をきっかけに 早くから深めた仕事への理解

大学時代に経済学部で学ぶ中で、近年の日本経済が抱える問題には少子高齢化や人口減少が密接に関係していることを知りました。同時にそうした社会問題の解決には行政がいかに工夫してサービスを提供していくか、政策を展開していくかが重要だと学んだことが今の仕事を最初に意識したきっかけです。また、「将来の選択肢は複数あったほうが良い」との考えで1年次から受講した大学の公務員試験講座にも大きな影響を受けました。講座では単に試験対策を行うだけでなく、実際に公務員試験に合格した先輩や、現職の公務員に話を聞く機会もあります。そこで公務員の仕事を理解したうえで職業選択ができたので、社会人になってからのギャップも少なく、納得して仕事ができていると感じています。公務員をめざす同じ大学の仲間とディスカッションをしたり、勉強の進捗を報告したりと、日々ライバルから刺激が受けられる環境に身を置けたことも良かったですね。

自分の強みを活かすことが 納得できる将来に繋がる

私は昔から好奇心が強いほうで、この強みが学生時代の学びや職業選択だけでなく、社会人生活でも活かされているように感じます。早々に公務員試験講座の受講を決めたのはもちろん、人事異動で定期的に所属部署が変わる公務員の働き方を選べたのも、そんな自分の特性をよく理解していたからではないでしょうか。常に新しいことを学び、挑戦できる今の環境は自分の特性に合致していると思います。

柔軟性と他者を思いやる 想像力が求められる仕事

現在は環境部に所属していますが、公務員の仕事は3～4年スパンで異動があるのが一般的です。数年で自分の担当や専門分野が変わることから、変化する環境に適応する柔軟性が求められます。また、区役所であれそのほかの公務員であれ、公の仕事をする際には多くの住民の方の意見を聞いたり、一緒に活動する場面も多々あります。そのような

環境では、相手の話にしっかり耳を傾け、思いやりを持って接することができる力が重要です。当然ですが、ともに働く職員にも区民の方にも、さまざまな立場や意見、悩みを持った方がいます。私は学生時代に接客業のアルバイトなどの経験も少なかったのですが、社会人として働く中で多くのことを学び、身につけてきました。

自分の興味関心を大切に まずは行動してみよう

学生時代は、まとまった時間が使える最後のタイミングと言っていると思います。その環境と時間を存分に活用していただきたいですね。自分の興味関心が向いた分野に果敢にチャレンジすることが、今後大きな可能性につながります。私も早い時期から行動したことで、公務員への選択肢を持てました。自分から行動する姿勢は、主体的に考えて動く練習にもなります。これは社会人になってから、特に求められたり評価される力です。今から鍛えておけば、きっと皆さんの将来の助けになるでしょう。みなさんの挑戦を応援しています！

「社会知性の開発」を掲げ
激動の時代を生き抜く知力を育む

【入学センターインフォメーション】03-3265-6677



@senshu_univ_ao



@senshu-u

専修大学



働く

外務省職員

関連キーワード 公務員・外務省・国際法

心惹かれるものを大切に 自分の夢を貫こう

外務省

国際法局国際法課 国際裁判対策室
https://www.mofa.go.jp/mofaj/

中央大学

法学部国際企業関係法学科 卒業

村本 晶子さん



外務省学生向け
X



可能性は 無限大

外交官になりたい。 国際法を学びたい。

私は外交官になりたいという夢と国際法を学びたいという思いから、グローバルな視点で法律を学べる法学部国際企業関係法学科に進学しました。国際法の授業はどれも非常に興味深く、3年次から参加したゼミでは、小人数で先生と密にディスカッションを行う学習スタイルのもと、主体的に意見を述べることへの抵抗感が自然と薄れ、とても有意義な学びの場となりました。

人生選択の軸を教えてくれた 恩師との出会い

中央大学で教鞭を執られていた先生方は、私が興味を持っていた国際公法に詳しい方ばかりで、どの先生も尊敬できる存在でした。多くの先生から学ぶ中で、就職活動時期に人生選択の軸となる言葉をくれた恩師との出会いがありました。その先生は、JICAや国連などでキャリアを積み、世界各国での発展・開発支援分野に携わってきた方でした。決して最初から安定した道を選んだわけではなく、国際開発への情

熱を胸に、己の力で人生を切り拓いてきたという話を伺ったとき、「自分の意思次第で人生はいつどの時点からでも切り開ける」ということ、「道はひとつではなく無限にある」という確信が生まれました。就職活動を進める中で、民間企業も視野に入れるべきか迷いがあつた時期もありましたが、恩師のお話を伺ってから就活への迷いがなくなり、あのとき生まれた確信は今でも自分の人生の核になっていると感じています。

国と国を繋ぐ外交の達成感

現在、私は外務省で国際裁判対策に関する業務に携わっています。国際法の教科書に登場するような実例を扱う仕事でもあり、大学での学びが活きていると実感しています。やりがいを感じるのは、外国との交渉・折衝・情報収集の中で、コミュニケーションを通じて双方の国が利益を感じられる結果を出せたときです。国境を越えて人とのコミュニケーションをとることが好きだというのは、私が外交官を目指すようになった出発点。その「好き」が武器となり、他国との良好な関係構築や目的の達成に貢献できたときの達成感は、何にも代えがたい喜びです。そして外

交交渉は、相互で満足感を得られた時が一番成功した結果につながると感じています。

外交官を目指す皆さんへ

外交官や外交の世界に関心がある方には、どんな分野でも何か自分の強みを見つけること、幅広い分野へ関心を持つことをオススメします。外交は幅広いため、どの分野においても強みが必ず役に立ちます。今、情熱を感じるものがあれば大切に育んでほしいですし、無ければ、今いる世界の外に出て、ぜひ探しに行ってみて欲しいと思います。そして、将来のことで悩んだときには、目標達成のための道は無限にあるということも、思い出してください。



国境を越えた出会いに感謝し、日本と国際社会のために尽力していきたいです。

法と経済をグローバルに学ぶことで、
地球市民としての資質を磨く。

@chuo_admission [問い合わせ先] 042-674-2210

@chuolaw

@chuo_admissions

中央大学
CHUO UNIVERSITY
— Knowledge into Action —



“素朴な正義感”を忘れずに 真相解明につとめる仕事

京都地方検察庁

交通部

<https://www.kensatsu.go.jp/kakuchou/kyoto/index.html>

青山学院大学

法学部 法学科 卒業

佐藤 真央さん

どんな経験も 力になるよ!

映画やドラマがきっかけ 法律の仕事への憧れ

私が法学の世界へ憧れを持ったきっかけは、高校生の時から法律関係の映画やドラマを観ることが好きで、法律の仕事がかっこいい職業だと感じたことです。大学では弁護士を目指し法学部へ進学。司法試験合格後の司法修習で、検事の仕事内容を知り検事の道へ進もうと決意しました。自ら捜査して事件を解明する仕事に惹かれたことに加え、世間から見たら決して優等生とはいえない同級生が多かった中学校時代、「みんなにも良い面がある」と感じた経験から、検事はその思いに向き合える仕事だと思ったことも理由です。

仕事で生きる “青山スタンダード”の学び

仕事では大学の学びが大いに活かされています。理由は、一般教養の授業が多く、幅広い分野の学問を学べたからです。青山学院大学では「青山スタンダード」という考えのもと、学部に関係なく受講できる一般教養の授業が充実しており、さまざまな知識を習得できました。仕事では多様な分野の専門家から話を聞くときもあり、その際、一般教養で得た知識が話の土台となっています。法学に留まらず多分野を学べたことが、今の仕事に活かれています。

検察官の仕事とやりがい

仕事は捜査と公判という二つの軸があり、捜査では様々な事件を担当しました。真相解明に向けて被疑者や被害者から話を聞く中で、女性検事だからこそできた経験もありました。公判部に所属していた際、裁判に証人として出いただく女性被害者にお会いし、裁判の流れを説明したり、お話ししていただく内容を確認しました。その女性は、事件の影響で外に出るのが怖くなってしまっていたが、カウンセラーの方に同席していただくなど、精神的なフォローをしながらお話を伺いました。その結果、裁判が終わった後、「社会とのつながりを再び持てたと感じられたので、お会いできてよかったです」と言っていました。この仕事をできてよかったと思える瞬間でした。

“素朴な正義感”を持つ

日々の仕事のなかで大切にしているのは「素朴な正義感を持つこと」。これは、私が最初に配属された部署で教えてもらった言葉ですが、過度に強すぎる正義感ではなく、「これは常識的に考えてよくないよね」と普通の人が思うことに対して、きちんとおかしいと言えるような素朴な正義感を持つことだと思っています。

真実の発見が第一となる検事の仕事では、間違いがないよう徹底的に証拠を集めた上で、素朴な正義感によってバランスの取れた適切な判断をすることが大事だと考えています。

どんな経験も力になる

学生のみなさんへ、「どんな経験もあなたの力になるよ」と伝えたいです。私は失敗を重ねてきました。大学受験は浪人して入学、ロースクールでは半期留年、司法試験合格後もすぐに司法修習を受けず一年間留学しました。順調とは言えない道のりは失敗の連続に見えますが、これらの経験が私を大きく成長させ、仕事でも「あの経験が役立っているな」と感じる場面があります。どんな経験も必ず力となります。うまくいかなくても心配せず、前向きに日々を歩んでください。



真実を話してもらえよう、まずは自分自身が誠実な人となることを心がけています。

法の知識と思考技術
社会に活かす“智慧”へと高める

【入学広報部入学広報課(青山キャンパス)】03-3409-0135



@AoyamaGakuinU



@aoyamagakuinuniversity



青山学院大学

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY



“個性に寄り添える先生”になれた！

品川区

品川保育園

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

大東文化大学

文学部 教育学科 卒業

山崎 未空さん



理想的な教育理念と、風通しのよさが決め手に

高校生の頃は、人の心に寄り添う仕事がしたくて、スクールカウンセラーを目指していました。しかし、大学院までの進学が必要と知り、先生に相談したところ、「子どもの心を学ぶなら、保育士という道もある」とアドバイスをもらい、保育の道を選びました。就職先として品川区の公立保育園を選んだのは、区のエデュケーションが自分の理想と重なっていたから。また、定期的な異動制度があり、さまざまな保育士と関わりながら学べる点にも惹かれたからです。風通しがよく、前向きに成長していけるこの環境で、毎日楽しく保育に向かっています。

子どもの“らしさ”を引き出す喜びが大事！

現在、私が担当しているのは2歳児クラスです。この時期の子どもたちは、まだ自分の気持ちを言葉でうまく伝えることが難しいため、表情やしぐさといった小さなサインを丁寧に読み取り、「何をしたいのかな?」「今、どんな気持ちなんだろう?」と、一人ひとりに寄り

今を全力で

添う保育を心がけています。私が考える“保育士に必要な素質”は、「子どもそれぞれの違いを理解し、その子の持ち味や個性を引き出すことを楽しめるかどうか」。子どもを“一人の人間”として尊重する視点を持つことで、保育の仕事はよりおもしろく、やりがいのあるものになるはずです。

自然とチャレンジできる環境で、人間力が育まれた

小・中学生の頃の私は、実人前に立つのが苦手で、どちらかといえば内向的な性格でした。そんな私を大きく変えてくれたのが、大東文化大学での4年間です。高校時代に参加したオープンキャンパスでは、広々とした美しいキャンパスと、生き生きと活動する先輩たちの姿に心を奪われました。「私もこんな大学生活を送りたい!」そんな想いが自然と湧き上がり、不思議と自分がそこにいる未来を思い描けたことを覚えています。その直感を信じて、入学を決意しました。入学後は、挑戦する勇気を自然に引き出してくれる環境に背中を押され、4年間オープンキャンパススタッフとして活動し、リーダーとして仲間をまとめる経験を積みました。

また、学園祭の運営にもチャレンジし、保健所と連携して衛生管理を担当するなど学外の方と積極的に関わりをもつ貴重な体験もできました。保育士という職業は、子どもたちだけでなく、保護者や同僚との信頼関係も不可欠です。大学時代の多彩な経験を通じて、人と関わりながら協働する力や社会性が、自然と身についたと実感しています。

“教科書にはない学び”を大切にしてほしい

今の私を支えているのは学生時代に育んだ「社会性」と「チャレンジ精神」です。キャンパス外で多様な人と関わった経験が、子ども一人ひとりと丁寧に向き合う力になっています。自分の世界を広げることが“深みのある保育”につながるはずです。



子どもたちの個性に寄り添える保育の世界に飛び込んでよかった。

人間の本質や心理を学びながら、総合力のある教育のプロフェッショナルを目指す

【入学センター】03-5399-7800



@daito_univ



@daitouniv



大東文化大学



市民の力になりたい 市民の手助けをしたい

羽村市役所

福祉健康部 障害福祉課 障害福祉係
https://www.city.hamura.tokyo.jp

順天堂大学

国際教養学部 国際教養学科 卒業
青木 有紗さん



挑戦。

積極的に行動できる自分に なれた短期留学

大学1年生の時に参加した2週間の短期語学留学の経験は大学で印象に残っている出来事です。この留学を通して、積極性が身についたからです。大学の語学プログラムで、私はセブ島に留学しました。現地では英語で生活する環境に慣れるまで、自分の会話力に恥ずかしさを感じ、なかなか自らコミュニケーションを取りにいけませんでした。これでは留学が無駄になってしまう、これではいけない、という気持ちから、ミスをしていいと考えを切り替え、自分から周囲に話しかけることに努めました。ネイティブの方は誰一人単語や文法の間違いを気にしませんでした。この経験から度胸がつき、帰国後もあらゆる場面で自ら行動でき、積極性が養えた大学の留学制度にとっても感謝しています。

誰かのために働きたい気持ちが 公務員を目指すように

就職活動を開始したとき、働くうえで自分の軸を考えました。当時、アル

バイトで接客業を長く続けていた経緯もあり、接客業を軸に就職活動をしました。しかしコロナ禍もあり、接客業での就職は困難でした。そんな中、両親が公務員であったことから、公務員の情報収集を始めました。気づいたことは、公務員は接客業ととても似ているということです。どちらも“誰かのために”という考えが一番にある仕事だと気づきました。この気づきが公務員を志望するようになったきっかけです。

“誰かのために” 自ら学ぶ姿勢を常に心がける

私は障害福祉課で、手当の支給や障害者手帳の交付などを担当しています。以前、聴覚障害のある方へ手続きのご案内を紙に書いて対応したところ、その方から「話者の口の動きを見て理解する方が、紙に書いてやり取りするより分かりやすい」と伝えられました。この経験以来、どんな対応が相手にとって望ましいかを考えるようになりました。私の仕事軸である“誰かのために”という点で、自ら学ぶ姿勢で業務に取り組むことを大切にしています。

失敗は成功の基 失敗を恐れず挑戦を!

高校生の皆さんに伝えたい言葉があります。それは、「失敗を恐れずに!」という言葉です。私は大学の留学経験や仕事でのいろいろな経験を通して、失敗してもその失敗が必ず次のステップの糧となることを学びました。失敗のあった経験や仕事は、問題無く進んだものよりも学びの質が違います。私は、留学経験で、自分の英語のミスを恐れてコミュニケーションが取れなかった失敗があったからこそ、ミスを恐れずに、積極的に行動を起こすことの重要性を学べました。また仕事では失敗した業務があったからこそ、同じような状況になったときに、落ち着いて対処できるようになりました。失敗はありがたいものだという考えを持つことは良いことです。学生時代は自由に動ける身でもあります。だからこそ、今のうちに、いろいろなことに挑戦し続けて、できるだけ多くの失敗を経験してほしいと思います。失敗は成功の基です。失敗の数だけ皆さんを成長させてくれます。

「医療」と「英語」の専門知識で
グローバル人材を育む国際教養学部

【教務課】03-3813-3111



@juntendo1838



@juntendo_1838



順天堂大学 国際教養学部



国際関係の分野で 活躍する先輩

広報・編集

女子奇心の
おもむくまま、
やりきる。

世界各地の人道危機の現場にある
人びとの物語を伝える

国際基督教大学

教養学部 社会科学科(当時)卒業

国境なき医師団日本

広報部

今津 みなみさん



© Mayumi Iwata

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 国際協力、医療・人道支援

関連業種: 編集者 翻訳者 デザイナー

「幅広く、かつ海外のことも 学びたいなら」という先生の勧め

物心ついたときから世界の文化や歴史が好きでした。小学生のときにテレビで湾岸戦争を見て、「まだ戦争ってあるの?」と衝撃を受けたのを覚えています。海外以外にも美術などさまざまな関心があった私に、高校の担任が勧めてくれたのが国際基督教大学(ICU)でした。

ICUでは、1、2年生のうちに“英語で学ぶ力”を鍛える課程があります。英語で議論し、文章を書き、発表もする。4年間で一番大変でしたが、これによって学びの下地ができました。

歴史学を通じて、 現代を相対化する眼差しを学ぶ

哲学や語学、天文学などの授業を受け、国際法や国際関係論にも興味がありましたが、最終的には歴史学を専攻しました。人間とは何か、社会はどうしてこうなっているのかを追究したいと思ったからです。

大学の歴史は暗記ではなく、これまでの研究の中から新しい発見をしたり、過去の人が残した物や言葉を使って、当時どんな意味をもっていたのか、それが今にどう繋がっているのかを解説する作業です。今当たり前とされていることの多くは、歴史のある時点でつくられたもの。そんな感覚を大学の学びを通して身につけました。

人道危機下の「人」の姿を 伝える仕事

私の仕事は、医療援助と並ぶ団体の柱である“証言活動”での発信です。世界各地から届く記事や動画コンテンツから、日本社会に向けて今何を発信すべきかを選択し、翻訳、編集、ビジュアルデザインを行なって公開しています。大切にしているのは、記事や動画は単なる素材ではなく、そこに「人がいる」ことを受け止め、伝えることです。人というのは、現地の患者さんであり、海外派遣スタッフや現地のスタッフでもあります。

紛争地域や被災地の現実、は、辛く厳しいの

ですが、人が人を助けようとする姿勢に希望を感じ、救われます。このストーリーを伝え、多くの人に関心を持ってもらうことが使命です。

この仕事に向いている人

知ることや学ぶことが好きな人に向いていると思います。人の意見に耳を傾ける姿勢もとても大切です。高校、大学の時期に出会った人やものは人生に大きな影響を与えます。皆さんの興味関心や好奇心が赴くままに、一生懸命やり切ってほしいと思います。



©MSF

マレーシア、ペナン州の国境なき医師団のプロジェクトを訪問。

文理の枠を超えた、
少人数・対話型のリベラルアーツ教育

【パブリックリレーションズ・オフィス】0422-33-3058

✕ @ICU_JP

📷 @icuoofficialtokyo



ICU 国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY



先輩の声を
聞いてみよう！

国際関係分野を目指す先輩

Interview



永井 結さん

昭和女子大学
国際学部国際学科 4年(取材時)

“私はここで学びたい！”
昭和女子大学ならではの留学制度

私は留学に興味があり、5年間で国内の大学と海外提携大学2つの学位が取得できるダブルディグリー制度(DDP)のある大学を探していました。ただ費用面に心配もありました。そんななか、昭和女子大学では東京都内でアメリカのテンプル大学

大学で養った国際感覚を活かし食品ロス問題に取り組みたい

グローバルで活躍するための必要なスキルが身につく環境

ジャパンキャンパス(TUJ)とキャンパスを共有し、日本に居ながら現地と同じように留学ができます。費用面の心配をすることなく留学できる環境に惹かれ入学を決めました。現在はTUJ DDPで学んでいます。

“挑戦”を応援してくれる環境
食品ロスプロジェクトの立ち上げ

自分がやりたいことに関して背中を押してくれる大学が昭和女子大学だと思います。3年生の時にスペイン留学をし、環境ボランティア活動を通して食品ロス問題を学びました。帰国後、得た知識を日本でも展開したい一心で食品ロスへの認識を広めるプロジェクトを立ち上げました。挑戦を歓迎する環境だったからこそ実現できたことだと思います。

世界を間近に感じるように

大学生活を通して世界を意識するように

なり、また将来は食品ロス問題に取り組みたいという夢を持つようになりました。夢を実現するため、卒業後はイギリスの大学院へ進学します。国際感覚に磨きをかけ、グローバルな視点で食品ロス問題に取り組みめる人になっていきたいです。



〒154-8533
東京都世田谷区太子堂1-7-57
【アドミッションセンター】03-3411-5154



伊東 美優さん

慶應義塾大学
総合政策学部 3年(取材時)

興味を最大限に引き出す

高校時代は、みんなでひとつのものを作り上げることが好きだったこともあり、文化祭などの学校行事にはリーダーシップをとって打ち込みました。当時は、明確な目標はなかったものの、いろんなことに興味があったので、それを最大限に引き出して学べる慶應義塾大学の総合政策学部に進学しました。

幅広い分野を横断的に学修し、多角的な視点を身につける

めまぐるしく変わる社会動向を見据えながら世の中を変えていく。

幅広い分野を横断的に学修

湘南藤沢キャンパス(SFC)は、1年次からゼミに所属でき、いろんな分野を横断的に学べるのが魅力です。私は企業の組織から、最新のテクノロジーやデジタル技術を生かした経営戦略、福祉や環境、政治まで多岐にわたる授業を履修しています。幅広い分野に興味関心をもてたことで、いろんな視点をもって発言をしたり相手に考えを伝えられるようになりました。

楽しくて得意なものに出会う

将来のビジョンが見えたのは、メディア系のインターンシップに参加したことがきっかけ。政治家や企業の社長、芸能人の方など、幅広い方を取材し、記事を書く経験がすごく刺激的で楽しかったんです。楽しいだけでなく、自分はそれが得意だとも感じ

ました。そういう感覚が初めてだったので、ライターなど文章を書く仕事に興味をもちました。現在、ゼミでは組織やファンコミュニティについて学んでいます。大学での学びを生かし、社員一人ひとりが意見を言えたり、不安を抱えることなく心理的安全性の高い職場、しっかりリーダーが機能する職場をつくっていききたいです。



慶應義塾大学



〒252-0882
神奈川県藤沢市遠藤5322
(湘南藤沢キャンパス)
【学生支援グループ】Tel.0466-49-3409

くらし・生活の分野で 活躍する先輩

海運業

早稲田大学

政治経済学部 政治学科 卒業

日本郵船株式会社

人事グループ 採用・育成チーム

吉岡 菜那さん



夢を追い、
挑戦を楽しもう！

大学での学びと経験が活きる
一体感を強く味わえる魅力ある仕事

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： 海運、物流、日本郵船、国際、航海士、機関士、NYK

関連業種： 物流 海運

人生の財産となった 剣道部で過ごした大学生活

私は早稲田大学で剣道部に所属し、関東の大学剣道部の代表が集まる学生剣道連盟にも参加しました。他大学の学生と共に大会運営の計画や準備に取り組み、連盟の各委員が力を合わせて大会を成功に導く経験を得た中で、情報共有の重要性と一致団結して物事を成し遂げる素晴らしさを実感し、私にとって大きな財産となりました。学生剣道連盟は、歴史ある名門大学が加盟する由緒ある組織です。早稲田大学だからこそ、そこで貴重な経験を積むことができたと思います。

働く自分の姿が想像できた仕事

就職活動中、海運業に就職した学生剣道連盟の先輩との話を通じて、船に乗って貨物を運ぶ海上職の仕事内容や、大学で専門的に学んでいなくても目指せる職業であることを知りました。剣道に打ち込んできた私には、デスクワークより体を動

かしながら働く仕事の方が向いていると感じ興味を持ちました。なかでも日本郵船は、自社養成制度によって航海士・機関士になるための資格の取得を支援しており、誰にでも挑戦の機会がある環境に魅力を感じ、入社を決意しました。

大学での学びと経験が活きる 航海士という仕事

昨年3月から採用担当として陸上勤務をしていますが、それ以前は航海士として乗船していました。航海士の業務は操船に加え、貨物管理や積み下ろしのオペレーション、船体整備など多岐に渡ります。外航船では外国籍の船員と共に働くこともあり、長期の船内生活では慣れない環境に苦勞もありました。こうした困難を乗り越えられたのは、大学の剣道部で培ったチームワークと、多様性を尊重する意識があったからだと思っています。

安堵感と達成感がやりがい

船を操縦して港に着くことは決して簡単ではあり

ません。安全運航が求められる航海士は常に緊張感を持って任務にあたります。その分、貨物を無事に届けた際の安堵感と達成感是非常に大きくやりがいにもなりました。一日でも早く貨物が必要とする人のもとへ届けたいという使命感を持てるこの仕事に誇りを感じます。今後は採用担当として、海上の仕事だけでなく陸上業務の魅力も含め、海運業のやりがいを多くの学生に伝えていきたいです。



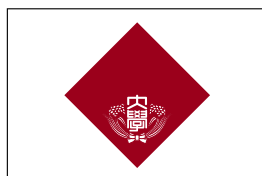
船上・陸上の仕事の魅力を採用担当者としてしっかり学生に伝えていきたいです。

リベラルな伝統を発展させた
先進のカリキュラム

【入学センター】03-3203-4331

@waseda_univ

@waseda_university



くらし・生活の分野で
活躍する先輩

陸運業

明星大学

理工学部 総合理工学科 建築学系 卒業
(現:建築学部 建築学科)

東日本旅客鉄道株式会社
(JR東日本)

首都圏本部 上野保線技術センター

阿部 周平さん



自ら考え、
自ら行動する

細部へのこだわりを常に持ち
多くの人々の生活を支える仕事

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 鉄道、安全、くらし

関連業種: 陸運 貨物鉄道 旅客鉄道

思わぬ苦労があった模型製作
達成感を初めて感じた瞬間

明星大学のオープンキャンパスに参加した際、学部説明会で一番面白そうだと感じた建築学を学べる学部に進学しました。設計図面の授業では、1ミリ単位という細かい部分にまで注意を払い図面を描くことが求められました。当時は手書きだったこともあり、少しのズレも許されず、時には夜遅くまで大学に残り作業をした思い出があります。ただ、この経験があったからこそ細部にこだわる考え方が出来るようになりました。描いた図面から模型が完成した際の達成感は今でも覚えています。

多くの人々を支える
インフラの仕事に興味を抱く

3年生から土木系の研究室に入りました。土木の勉強をするうちに、社会にとって有益な役割を持っているインフラ関係の仕事に興味を持つようになり、現職にいたりました。大きな仕事をして社会に貢献したいという想いもあり大手

企業への就職を目指しました。そしてご縁があった会社がJR東日本でした。

鉄道の安全を支える責任ある仕事

私の仕事は、鉄道の安全運行を維持するため、線路や周辺設備のメンテナンスを行う仕事です。他にも、今ある線路の設備の向上、分岐器の次世代化を目指し、改良工事なども担っています。担当路線は、山手線、京浜東北線、湘南新宿ラインなどです。傷んだレールやまくらぎの交換の発注をパートナー会社に行う際、調査結果を現地にて説明することもあり、分かりやすく伝えるための資料作りや説明の仕方なども考えます。日々、安全安定輸送を守るよう、最新の注意を払って業務にあたっています。何事もなく電車が動いている背景に私たちがいることという事実がこの仕事の魅力だと思います。

自ら考えて、自ら行動すること

私が所属していたゼミの教授は、研究を通し

社会人となってもやっていける人間力を育てるための環境を作って下さいました。教授に報告・相談する際には、必ず自分の考えを言語化して述べる事が求められました。それにより、自ら考えて行動する習慣が自然と身につく、今の仕事でとても活かされています。問題を自ら発見し、改善していく現在の仕事では、自分の考えが無ければ解決に進みません。学生のうちからこのマインドを教えてくださった教授にとっても感謝しています。



“何事もなく電車が走れるようにすること”が私の仕事の使命です。

9学部1学環、12学科が集うキャンパス
学問分野を超えた学びから、幅広い視野を育む

[アドミッションセンター] 042-591-5793



@meiseiuniv_ad



@meiseiuniv



@418omxui



明星大学
MEISEI UNIVERSITY



くらし・生活の分野で
活躍する先輩

営業職

法政大学

社会学部 メディア社会学科 卒業

ネスレ日本株式会社

営業本部 北日本支社

甲斐 義斗さん



何事も挑戦!!
自分の可能性を広げよう

潜在的な課題を解決する提案で
お客さまと一緒に売上アップを目指す

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: リテール営業、販売職、取引先支援

関連業種: 食品メーカー 物流 卸売業

柔軟に学べる環境が
興味を見つけるヒントになった

当時、法政大学の社会学部には、主専攻と副専攻を選べる制度がありました。副専攻として「企業と社会コース」を履修したことが、物を売ることへの興味のきっかけになったと感じています。外部講師として、さまざまな企業の方が講義でお話してくださる内容も面白かったです。ゼミでは、実店舗とインターネット販売での売上の差を調べたり、企業研究や工場見学を行った内容を発表したりしました。企業が売上を伸ばすために何をしているのかを学んだことで、物を売る仕組みを作って実際に販売してみたいと思うようになりました。

カテゴリーのスペシャリストとしての
課題解決提案

現在は、ネスレ日本でコーヒーやチョコレートの営業をしています。ドラッグストアやスーパーなどの小売店顧客に対して、商品の品揃え提案や販促提案を行うのが主な仕事です。

顧客の課題を解決して売上アップにつなげるために、嗜好品カテゴリーのスペシャリストとして提案を行います。そのために自社商品だけでなく、カテゴリー全体のトレンドや、競合メーカーの商品も合わせて提案することもあります。顧客が気づいていない潜在的な課題をこちらから提示して、解決のための提案ができたときはやりがいを感じますし、売上が伸びて一緒に喜べる瞬間は何より嬉しいです。

大学時代の経験が活きる
チームでの仕事

法政大学の社会学部は1年生から基礎ゼミがあり、少人数でグループワークを行う機会が多かったのが印象的です。現在も、顧客へよりよい提案をするために、自分1人ではなくチームで仕事を進める場面が多くあります。チームメンバーと「この小売店にはこういう販促提案をしたらどうか」と話し合い一緒に考えていきます。大学時代にチームで物事を進めた経験は、現在の仕事にもおおいに役立っていると感じています。

たくさんの挑戦と
人との出会いを大切に

人生は選択の連続です。だからこそ何度でもチャレンジすることができます。学生時代は時間がたくさんあるので、みなさんにもやりたいことに積極的にチャレンジしてほしいです。その中で、いろんな人と出会っていろんな考え方に触れる経験をしてみてください。私自身、大学時代にゼミやサークル、アルバイトなど、たくさんの人と関わったことが大きな財産になっています。時間があるうちに、今しかできない経験をたくさん積んで人間力を磨いてほしいです。



商品が多くの方に届き、売上アップと共に喜べるのが小売店営業の醍醐味です。

多様な学びの選択肢から、
社会問題の解決に挑む

【入学センター】03-3264-9300



@hosei_admission



@hosei_admission



@hosei_nyushi



法政大学
HOSEI University



ワンダシヤス
サイト記事
QR

くらし・生活の分野で 活躍する先輩

総務・人事

駒澤大学

経済学部 経済学科(増田ゼミ) 卒業

日本生活協同組合連合会

人事部 (略称:日本生協連)

宮本 篤さん

co-op



可能性を
拓いていこう!

ボランティア活動がきっかけに
”誰かのために“という意志の芽生え

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 総務、人事、採用業務

関連業種: 生活協同組合 団体 連合会 食品

将来への道筋となった 「ボランティア活動」との出会い

私は大学在学中、ボランティアサークルに所属していました。このボランティア活動は私にとって運命の出会いと言っても過言ではないほど、人生の中で大きな出来事となりました。サークルでは日本赤十字社との協働で、献血の推進活動など行いました。ここで私は大きな気づきを得ます。それは、誰かの為に動く事が本当に好きだという気持ちです。この気づきが将来の道を決める際の軸となりました。

世の為、人の為に。誰かの為に 働きたいを実現できる場所

ボランティア活動がきっかけで、将来は公共性、社会貢献性の広い仕事がしたいと強く思っていたなか、日本生協連の仕事がボランティア活動の理念と重なる部分が多くある印象を受けました。それは、生活者(消費者)がより良い暮らしをするために自分たちが出

来ることやっていくという考えが大前提にあることです。私は、この考えに強く共感し、日本生協連への入協を決めました。

仕事で生きている大学の学び

日本生協連の一員として働くなかで、大学で得た学び、経験が仕事でとても生かされていると実感しています。採用担当者として、大勢の学生を前に会社説明会を開催するなど、話す機会が多くありますが、抵抗なく、かつ私自身がスピーチを楽しめています。それは、紛れもなくサークル活動のお陰です。ボランティアサークルでは加盟大学13校、在籍学生700名をまとめる会長職も経験しました。会長は、月一の定例会で大勢の学生の前で話をします。この経験がスピーチで生きています。また学部では統計学を専攻していたため、仕事の改善案や計画を立てる過程で必要となる統計の知識がフル活用できています。大学の経験や学びは、私の武器となっています。

挑戦、経験することが大切

仕事は多くの人と一緒に作って上げていくものです。そのなかで、自分の経験が生きたる時必ずあります。だからこそ、少しでも楽しそう、興味があると思ったら、ためらわずに足を動かしてください。学生時代だからこそできる経験は自分の可能性を広げる貴重な時期です。挑戦し経験を積み上げることこそが全ての進路に必要なスキルだと思います。



採用業務は学生の将来に繋がる責任ある仕事。
楽しさと緊張感が仕事の醍醐味です。

学生と社会のニーズに応えた
教育機会を提供します。

【入学センター】03-3418-9048



@komazawa_adm



@Komazawa_nyugaku



しなやかな、意思。
駒澤大学



くらし・生活の分野で
活躍する先輩

電気・ガス業

青山学院大学

理工学部 化学・生命科学科 卒業

東京ガスネットワーク
株式会社

技術革新部 技術研究所 内管設備技術チーム

大原 和奏さん



可能性は
無限大!

“人の幸せを手助けする”を目標に考えて、
行動する人になりたい

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: ガス、エネルギー、インフラ

関連業種: 技術開発 設計

研究室の教授の教え

大学生活はコロナ禍でスタートしました。サークル活動など自粛されたなかで、一番有意義な時間を過ごせたのは研究室での学びでした。研究室が始まってすぐに、教授から研究者として大切なことを二つ教わりました。それは「知識量」と「さまざまな角度から解決策を探ること」です。この考え方は、開発という仕事に就いた現在、仕事を進めるうえでの土台にもなっています。

研究を通して培った力

研究室の教授は、その二つの教えを学生が常に意識できるような環境を整えてくださいました。実験を繰り返し、失敗の原因を深掘りする研究スタイルでは、「なぜ」を突き止めるための知識の必要性を実感できました。最適解を探る際には、さまざまな角度から可能性を考え、柔軟な思考力が鍛えられたと思います。

人の役に立つ仕事がしたい

就職を考える際の基準となったのは、“誰かのためになる仕事、人の生活を支える仕事”でした。化学に関する分野に携わりながら、自分の軸と合致できたところが東京ガスネットワークでした。ガスは生活に欠かせなく、安全に使用できることを当たり前とする、陰で支える大事な仕事であると感じ入社を決めました。

“誰かのために”を経験

入社後、配属先では、社会や生活に欠かせない存在となっている都市ガスを、確実かつ効率的に供給するための技術開発を行っています。昨年、担当している開発品を展示会で発表する機会がありました。その際、参加していた方から「お客様が喜ぶね、私たちも使ってみたい」といった意見を頂きました。自分の取り組みが評価され、社会に浸透していく実感を得られ、やりがいとなりました。誰かのために

働くという自分の軸を、今後もさまざまな場面で貫いていきたいと思っています。

選択肢を多く持てる環境に

私は進路を決めるとき、やりたいことが明確ではありませんでした。しかし、どう転んでもいいように選択肢を増やせる環境に身を置こうと決めたことで、今につながりました。今やりたいことが見つからなくても焦らず、しかし歩みを止めずに、自分のペースで将来を決めていけばいいと思います。



自分の考えの軸をしっかり持って仕事に対応することを心がけています。

物質の本質とその可能性を
分子レベルから探求する。

【入学広報部入学広報課(青山キャンパス)】03-3409-0135

@AoyamaGakuinU @aoyamagakuinuniversity



青山学院大学
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY



くらし・生活の分野で 活躍する先輩

郵便配達

二松学舎大学

国際政治経済学部 卒業

日本郵便株式会社

保坂 颯人さん



人と人との
繋がり大切に

人と人とのつながりを育んだ
二松学舎大学での経験と成長

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード：コミュニケーション、顧客満足、チーム力

関連業種：配達員 配達業務

つながりと視野の広がりを得た 大学生活

二松学舎大学で私が得たものは、「人と人とのつながりの大切さと、そこからもたらされる視野の広がり」です。公務員系の道を志していた時期もありましたが、両親の勧めもあり大学付属の二松学舎大学付属柏高等学校からエスカレーター式に進学をしました。政治や経済に興味を持った私は国際政治経済学部に進み、そこでさらに多くの発見と成長につながる経験をしました。例えば経済に関する授業では、専門辞書を使った学習が取り入れられ、効率的に深い学びを得る工夫がされています。その他にも公務員試験対策の授業や、国際的な政治経済を学べる授業があり、さまざまな専門分野の先生の講義を受けることや、対話を重ねることは貴重な経験だったと感じています。

二松学舎大学で得た 唯一無二の体験

先生との出会いや講義からの学びに加え、大学

生活で学友たちと過ごした時間はとても有意義で楽しく、私にとって最も大切な思い出です。ゼミでは、学友たちと博物館に実際に行きディスカッションを行ったり、合宿やバーベキューなどのイベントを企画したりと、実践的な学びや仲間とのコミュニケーションを通じて、人と人とのつながりの大切さを実感しました。その後、私は父の背中を見て、郵便局員として働くことに決めましたが、父が見せてくれた仕事に対する姿勢から、チーム力がいかに重要で欠かせないものかを強く感じていました。今の仕事では、大学時代に培ったコミュニケーションスキルが日々の業務に生かされていると思います。

配達に誇りを感じる郵便局の仕事

現在、私は郵便局で配達の仕事をしています。年末年始は特に、年賀状を通じてお客さんの思いを届けることができるこの仕事に誇りを感じます。郵便局での仕事はチームとして行うため、同僚との密なコミュニケーションが重要です。情報交換を通じて、配達業務がスムーズに進むこ

ともありますし、お互いの環境や家庭の事情を理解し合い、助けが必要な時には手を差し伸べることもできます。このような協力と支え合いの精神は、学生時代に学んだものだと思います。二松学舎大学の学友とは今でも本音で語り合うことができ、仕事での悩みやそれに対する改善点など、具体的なアドバイスをもらうこともあります。

挑戦と成長、 向上心を持ち続けて！

大学生活では人と人とのつながりを大切にしてください。新たな視点や心の支えになる経験、仲間を得ることができると思います。郵便局にはさまざまな仕事があり、皆さんの得意を生かすことができる環境が整っています。ただ、勉強でも仕事でも失敗や悔しい経験をすることがあります。そんな時は「次どうすればいいの」「さらによくするために必要なことはなにか」を考えてみてください。アドバイスをくれる仲間と共に、トライ＆エラーを繰り返し、常に向上心を持ってチャレンジしてほしいです。

専攻ごとに設けられたゼミナールで
諸課題の解決策を考える。

【入試課】03-3261-7423

LINE @nisho_nyushi

Instagram @nishogakusha_admission



二松学舎大学



IT・モノづくりの分野で 活躍する先輩

情報通信

東京都市大学

情報工学部(旧:知識工学部)
知能情報工学科(旧:経営システム工学科) 卒業

ANA システムズ株式会社

マーケティングソリューション部

鈴木 萌さん



この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 情報通信

関連業種: 情報通信 プロジェクト管理

研究室での経験を活かし、
プロジェクトを成功に導く

常時にも瞬時に判断して間違わずに必要なボタンが押せるようになっていきます。世の中にあるものが「なぜそうなっているのか」を学び、理系分野の知識と掛け合わせることは新鮮で面白かったです。大学入学前は、将来やりたいことや就きたい職業が明確ではありませんでしたが、これらの授業を楽しく学べたことで、情報分野で学んだことを活かした仕事をしたと思うようになりました。

システムの方で課題を解決 大学での経験を活かした プロジェクト管理

現在は、Webサイトやアプリの開発チームでプロジェクト管理を担当しています。プロジェクトの課題やコスト、進捗を管理し、開発委託先のベンダーが作成した設計書や開発内容を確認するのが私の役割です。設計書通りに動作するか、要望に沿ったものができているかを、テストを通して確認します。より使いやすいシステムにするための改善や、新事業の実現のために、ANAの業務担当者として協力して「どんなデータをやり取りして、どんな機能が必要なのか」を話し合っ

て技術的な課題を解決できたり、プロジェクトを成功に導いたりしたときは達成感がありますし、お客様に便利で快適なサービスを提供できるということにやりがいを感じています。開発計画書を作成したあとは、その通りに進めて良いか部門長の承認を得る必要があるのですが、その際のプレゼン力や質疑応答に対する回答力は、大学時代の研究室で培われたものです。毎月行っていた研究の進捗報告会で、事前にどのような質疑が来るかをシミュレーションして回答を持って臨んでいた経験は、現在もおおいに活かしています。

時間の使い方は自分次第 学びも遊びも全力で楽しめる 学生生活

専門的なスキルや資格の取得も大切ですが、みなさんには自発的に考える力や、コミュニケーション力を培ってもらいたいです。また、今しかない学生時代を思い切り楽しんでほしいです。どういった時間の使い方をするのかは自分次第なので、ぜひやりたいことを実現していきましょう。

理系大学の付属中学・高校に通っていたこともあり、理系分野の勉強が好きで得意でした。ただ「将来何がしたいのか」を考えたときに、理系分野だけを専門的に学び続けるイメージが湧かず、社会に出たときに幅広く役立つ「経営」について学んでみたいと思うようになりました。そんなときに出会ったのが、東京都市大学の知能工学部です。理系分野でありつつ経営を学べる「経営工学」というジャンルに魅力を感じ進学を決めました。

進みたいキャリアの方向性が見えた 大学での学び

東京都市大学の知能工学部での学びの中で、特に統計学や人間工学の授業が印象的で、勉強していくうちにすごく楽しく感じるようになったことを覚えています。私たちが日常的に使うものの多くは、人がパッと見ただけで判断できるように作られていることを学びました。例えばエレベーター内のボタンは、言語が通じなくても「開く・閉じる」などがわかり、非

超スマート社会において
「知の創造」を担う人材を養成する

【入試課】03-5707-0104

@toshidaigroup

tcu.ac.jp



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY



IT・モノづくりの分野で
活躍する先輩

電気機器

CASIO

大学での学びと経験が、時を得て、
カシオとの出会いに繋がりました

とりあえず
やって
みよう!

明治大学

商学部 商学科 卒業

カシオ計算機株式会社

デジタルイノベーション本部
マーケティングテクノロジー統轄部
UXプラットフォーム部 DevOpsグループ

藤井 理奈さん

CASIO



この仕事について
もっと知りたいとき



関連キーワード: 電気機器、電子文具、くらし

関連業種: 電気機器 IT

思い出深い留学経験と学部授業

大学一年生の時にイギリス留学に挑戦しました。初めての海外一人暮らしは私を大きく成長させてくれました。通っていた語学学校ではメディアやアートの授業もあり、語学力だけではなく、モノづくりの楽しさも学べました。また、商学部では他学部の学生と異文化を学ぶグループワークの授業が印象的です。ベトナムに日本食を浸透させることをテーマに日本食をみんなでアレンジしてみたりしました。多様な意見を受け入れながら組織のなかで一つの目標に向かう経験からチームワーク力を養えたと思います。

大きな舞台で仕事をしてみたい

情報分野への興味と大学の留学経験でモノづくりが楽しかったことから、前職でもIT系の開発職に就いていましたが、キャリアを重ねる中で、自分の経験を活かし、より大きなフィールドで挑戦したいと思うようになり転職を決意しま

した。求人を見ていた時、“世界を相手に仕事をしている”というカシオの言葉に目が留まりました。その瞬間、「そういえば英語を使って働きたいと思っていた」と気づき、留学で培った語学力も活かせると感じ、カシオへの転職を決めました。

学生時代の学びが駆使できる環境

カシオに入社して日々実感しているのは、大学時代の学びが仕事に直結しているということです。担当業務は海外の方と直接関わる部署ではありませんが、カシオは各国で共通のシステムを導入しているため、開発したシステムの運用レクチャーや導入後の質疑対応などで、英語を使っています。また、国内を含めたシステム提案では、学部で学んだマーケティングの知識が活かされています。

経験全てに意味はある

私は自身の経験から、やってきたことは将来必ずどこかで役立つと学びました。正直、大学

では将来を見据えて留学したわけでも、マーケティングを勉強したわけでもなく、ただ好きで取り組んでいました。しかし今、それらの経験はカシオで活かされています。「こんなことやって意味があるのかな」と不安に思うこともあるかもしれませんが、その心配はいりません。人生のどこかで必ず経験が役立つときがきます。そう信じて、いろいろなことに挑戦してください。



世界を舞台に感じながら導入したシステム運営の管理を行っています。

「ビジネス・フロンティア」で
活躍する人材を育成します。

【入試広報事務局】03-3296-4139

@meijiexam

@meijiexam



「創」を創る大学。
明治大学



IT・メディアの分野で 活躍する先輩 テロップ作成

日本大学

芸術学部 放送学科 卒業

株式会社 TBSアクト

CG本部テロップCG部

望月 貴仁さん

株式会社
TBSアクト



この仕事について
もっと知りたいとき



関連キーワード: メディア、映像、テレビ番組制作・編集

関連業種: 情報通信業 映像 音声

自分自身が心から楽しいと思える
仕事を全うしたい



“これは運命だ”と感じた テレビスタジオのある大学

私は中学生の頃から、将来はテレビ業界で働きたいという夢を持っていました。高校生になってもその夢は変わらず、進学を決める際は「テレビスタジオがある大学で学ぶ」を重視しました。しかし、テレビスタジオがある大学はとても少ない現状。専門学校ならばテレビ業界に絞った学校が多くあったのですが、今後、将来の夢が変わるかもしれないことも想定し、他の勉強もできる4年制大学に入りたいと考えていました。そんな中、高校の授業で配られた大学紹介の資料で、日本大学芸術学部放送学科にはテレビスタジオが完備されていることを発見。その瞬間、「ここだ！ここで学びたい！」と胸が熱くなったことを今でも覚えています。

大学の学びが仕事で生きている ことを確信する日々

幸せなことに、私は現在、中学生の頃から夢

であったテレビ業界で働くことができています。テレビの仕事をする中でいつも実感することは、大学で学んだことが本当に生きているということです。芸術学部放送学科では映像技術専攻に進み、情報番組やバラエティ番組・音楽番組・舞台中継・ドラマ撮影でのカメラや照明・音声といったテレビ技術の実習をしました。また現場で実際に働いている方からの講義もあるなど、テレビ業界で働きたいと思っている学生には、とても内容が濃く、贅沢な学びの場でした。現在所属しているテロップCG部では、TBSの生放送番組を中心に、さまざまな番組のテロップを制作しています。専門知識と技術を必要とする仕事ですが、大学の学びに助けられ、自信をもって業務に取り組んでいます。

「お疲れ様でしたー！」の瞬間

この仕事の魅力は番組終了後に響く「お疲れ様でしたー！」というスタッフ全員の言葉です。番組制作は決して一人で成すことはで

きません。多くの仲間と、思いがけないトラブルに対応しながら完成させていきます。私は生放送番組を中心としていますが、生放送では10秒後に何が起きるか分からない緊張があり、放送終了までスタッフのチーム力が特に必要とされます。無事に番組が終了し、関わった全ての仲間と一緒に「お疲れ様でしたー！」と拍手をする数十秒は、この仕事をやっていて本当に良かったと心から思える最高の瞬間です。

“楽しい”と思える感覚を大切に

最後に皆さんにお伝えしたいことは、“楽しい”と感じるものを大切にして進むべき道を選んでほしいということです。私は今の仕事がとても楽しいです。学生の頃の文化祭のような、忙しくても楽しいイベントが毎日続いている感覚でとても幸せです。楽しいという感覚を軸に将来を考えることも参考にしてほしいと思います！

放送を担うにふさわしい自由で豊かな創造力と
表現力を持つ人材の養成を目指して

【学務部入学課】03-5275-8001

LINE @nihon-u.nyushi



自主創造
日本大学



IT・モノづくりの分野で 活躍する先輩

商品企画

東京都市大学

都市生活学部 都市生活学科 卒業

大和ハウス工業株式会社

東京本店 マンション事業部 企画建設部 第一課

植村 友香さん



大工だった祖父や父がきっかけに
“まちづくり”への興味

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 不動産、建築、商品企画

関連業種: 不動産 建築

カリキュラムに惹かれた 都市生活学部

私は高校生のときから建築関係の仕事に就きたいという気持ちを持っていました。それは間違いなく、大工であった祖父と父の背中をみて育ってきたからでしょう。進学先を建築系の大学に絞って考えていたなかで、授業のカリキュラムが気になった大学・学部が東京都市大学の都市生活学部でした。建築だけではなく都市生活に関わる全ての分野を総合的に学べる印象を受けたのです。また家をつくる仕事はまちをつくることに繋がるという気づきを得ました。この気づきがきっかけで、まちづくりについて学んでみたいという想いを持つようになり、東京都市大学都市生活学部への進学を決めました。

とにかく楽しかった日々の授業

私にとって、大学生活の中で最も印象に残っているのは「日々の授業」です。まちづくりに関して総合的に学べる環境下で大学生活を送ることができたことと自体がとてもいい思い出になっています。例えば

1年生の後半にあるヨーロッパ研修。実際に現地まで足を運び本物に触れることで、ヨーロッパのまちづくりを実体験として学ぶことができました。またグループワークを通して、指定された地域の都市計画を考える授業も面白かったです。製図用のソフトも使って、床の色や壁の色など建物もデザインしました。さらに調査から完成までのスケジューリングも自分たちで行いました。こうした大学の学びが全てが私にとって面白く、印象に残っている思い出です。

居住空間をつくる仕事は、 そこに住む人たちの人生を支える仕事

大学で学んだことを活かしながら、私の夢である家づくりを実現できる会社が大和ハウス工業でした。現在私は「プレミスト」というブランドのマンションをつくる仕事を担っています。私が担当しているのは商品企画です。取得した土地に関してターゲットに合った間取りや共用部、外観などの全体のデザインを決めていきます。まさにこれは大学でやってきた授業そのものです。大学の学びがしっかり仕事で活きていることに喜びを感じます。そして私にとってのもう一つの喜びは、入

居されたお客さまに喜んでもらえた瞬間です。この瞬間に立ち会えることが私の仕事のやりがい입니다。お客さまが「ここにして良かった」と心から思える居住空間をつくり、それが魅力あるまちづくりにも繋がるよう、大和ハウス工業らしさを持ったマンションを今後もつくってまいります。

女性キャリアの ロールモデルになりたい

現在、私は主任という役職で、その役割には後輩の教育・育成も含まれます。主任として、自分が後輩に教えられることは積極的に伝えていきたいので、日々の業務の中で相談しやすい環境を自らつくるようにしています。また私の職場には産休を取って復帰したあと、時短で働きながら仕事と家庭を両立している先輩がいます。先輩は私にとって「女性でも仕事を辞めずに、子育てをしながらしっかりと働ける」ことを証明してくれた先駆者です。次は自分がその先を切り開く存在として、後輩に女性のキャリアモデルを示していかなければならないと考えています。将来的には管理職として活躍し、その姿を通じて可能性を示していきたいと思っています。

社会科学の視点で
「街と文化」を創造する

【入試課】03-5707-0104

@toshidaigroup

tcu.ac.jp



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY



IT・メディアの分野で 活躍する先輩

CGモデラー

東京工科大学

メディア学部 メディア学科 卒業

株式会社セガ

坂本 大河さん

SEGA



出来るかどうかではなく
『やる』か『やらない』か

言語化してみよう

面白いと感じたものを

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: モデル、CG、アニメーション、アート

関連業種: ゲーム アニメ

大学の学びで CG制作技術がセミプロレベルへ

映画「アイアンマン」を見てこういったカッコいいCG作品を自分でも作りたいと思ったことが、この道に進んだきっかけです。東京工科大学へは実際に現場で働くプロから、制作に必要な知識や技術を1年次から学べる「プロジェクト演習」という科目がとても魅力的だったため、入学を目指しました。学生時代には、CGアニメーション制作の企画から、絵コンテ、キャラクターデザイン、アニメーション、動画編集ソフトによるコンボジットといった一連の流れを何度も経験し、セミプロレベルのスキルを身に付けることができたと思います。

設定画から“カッコいい”魅力を 引き出すのが腕の見せ所

現在は、オンラインゲーム「PSO2 ニュージェネシス ver.2」という作品で、キャラクターモデリングを担当しています。もう少し具体的には、アートチームの作成した設定画をもとに3Dモデルに起こしていくという作業を行っています。設定画は見たまま作れば良いというわけではなく、ただ3Dに起こしただけでは「な

んか味気ないな…」となってしまう場合もよくあります。いただいた設定画を何も考えずそのまま作るのではなく、設定画を見て“カッコいい”と感じた魅力やシルエット等の情報をモデラー視点で読み解きます。そしてどう3Dモデルに落とし込むかを考え、いかに上手く速く作るかが私たちモデラーの腕の見せ所だと思っています。その際には、設定画を提供してくれたアートチームからのフィードバック、同じプロジェクト内の仲間にも進捗を共有しながら進めることを意識しています。他にも、今まで使用していなかった新しいソフトや技術を自ら積極的に検証・導入し、業務の効率化と質の向上にも取り組んでいます。

ゲームが好き、作りたいという 情熱が大事

ゲーム業界に向いている人は、とにかくゲームが好きで普段からやっている方だと思います。そして、自分はこういった作品を作りたい!という情熱があることが大切です。それさえあれば、高校時代に特別な知識やスキルがなくても問題ありません。私がそうだったように、大学や専門学校等に入ってから学び始めても十分間に合うかと思っています。

感じた面白さを言語化しよう

ゲーム業界でクリエイターを目指したい方は、学生時代からインプットを多く行うと良いと思います。日々たくさんのゲームが出る中で魅力的なコンテンツを生み出すためには、いろんなゲームや作品を見て研究することも大切です。気になるアニメやゲームを見たり遊んだりした際には、ただ「面白かった」で終わるのではなく、どういう部分が自分に刺さったのか、詳細や理由を自分なりに言語化しておくことを意識してみてください。そういった部分を自分なりに考えて言語化できたものというのは、今後の職種を目指すにおいても、きっと自らの制作の手助けになってくれるはずです。



これまで数多くのキャラクターモデルを世に送り出しました!

あらゆるメディアの
プロフェッショナルを育成する環境

【広報課】0120-444-903

@tut_tweet

@tut_koukaton.official



東京工科大学



IT・メディアの分野で 活躍する先輩

コピーライター

日本大学

芸術学部 デザイン学科 卒業

株式会社 大広

クリエイティブ局第3グループ

村上 実紗子さん

DAIKO



この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: ライター、デザイナー、ものづくり、広告

関連業種: 広告 メディア

アイデアを、かたちに。

想いを、言葉に。

好きも嫌いも
どちらも大事!
自分にだけは本音で。

表現への興味から日藝へ

日本大学芸術学部デザイン学科を卒業し、広告会社にデザイナーとして入社。今は同社でコピーライターとして働いています。昔から絵を描くことなど表現するのが好きでしたが、高校生の頃はまだ「将来これを仕事にする」とは決まっていなかった。それでも、自分が本気になる場所で学びたいという気持ちはずっと持っていました。日藝を選んだのは、オープンキャンパスで出会った先生との会話や、校内の空気に惹かれたから。「ここなら、自分らしく学べそう!」と思ったことが決め手でした。

“懐の広い”キャンパスで育まれた ものづくりへのリスペクト

日藝のデザイン学科では、1年次にグラフィック、建築、プロダクトなど幅広い分野を横断的に学びます。一つに絞らず、関心を探る柔軟なカリキュラムが魅力です。また、日藝は本当に“懐の深い大学”。3年生のときに興味のあった広告ゼミへ思いきって飛び込みました。先生に直接想いを伝え、

特別に学ばせていただくことに。情熱を受け止め、伸ばしてくれる土壌が日藝にはあります。ゼミの一環で参加した「ACジャパン」の学生コンペでは、本格的なCM制作に挑戦しました。私は「就活をテレビショッピング風に見せる」という企画を担当。撮影場所の選定や小道具づくり、演劇学科の仲間とのコラボまで、制作のすべてに全力で取り組み、入賞を果たしました。作品づくりは地道で根気のいる作業の連続ですが、アイデアがかたちになる瞬間の達成感は格別。その経験を通して、ものづくりへのリスペクトが自然と育まれました。

“アイデアがかたちになる瞬間”が 最高!

現在はコピーライターとして働いていますが、入社当時はデザイナーのポジションでした。「もっと考えること自体に特化したい!」という気持ちから希望を出して、コピーライターに転身しました。今はテレビCMのキャッチコピーや企業サイトなど幅広いプロジェクトに携わっています。特にやりがいを感じるのは、自分の書いたコピーがチームに小さな気づきや前進をもたらしたときですね。コピーライ

ティングには正解がなく、無限のかたちがあるからこそ「生み出すおもしろさ」があります。それは同時に難しさでもあります。日藝で培った「伝える視点」は、現職で生きています。例えば、「お母さんに伝えるものを作りなさい」という先生の言葉。どんなに斬新でも、相手に届かなければ意味がない。コピーを考えるうえで私が常に意識していることです。

進路選びは納得感を大切に

進路選びで大切なのは納得感。「親が言うから」「友達が行くから」も進路選びのきっかけにはなりますが、自分なりの理由を持つのが大切ですね。



いいコピーが書けたときは、仲間に見せたい!」と、心が弾みます!

一芸ではなく、日藝に秀でるということ。
この原点は芸術総合の精神。

「学務部入学課」03-5275-8001

LINE @nihon-u.nyushi



自主創造
日本大学



IT・モノづくりの分野で 活躍する先輩

商品企画・開発

東京造形大学

造形学部 デザイン学科
インダストリアルデザイン専攻領域 卒業

株式会社 タカラトミーアーツ

商品企画・開発

都立八王子桑志
高校出身

田邊 愛海さん



工房を思う存分に使って自主制作

元々デザイン分野の高校に在学していたこともあり「絵やデザインが好きなので美術大学に行きたい」と思っていました。その中でパンフレットを見て、私が学びたいことがそろっている環境に魅力を感じ、東京造形大学を進学先を選びました。在学中私が授業以外で最も力を入れて取り組んだことは自主制作です。作品を作るために工房にこもって作業し、大学の芸術祭や外部のイベントに出展していました。中でも友達とサークルでアクセサリーを販売したことが印象に残っています。そのための展示台や設備・看板に至るまで全て自分たちの手作りでした。大学に遅くまで残って作業をしたこともあり、特に力を注いだ出来事でした。

楽しいもの・面白いものが 作りたい

小学校の頃から工作や手芸が大好きで趣味でした。モノに限らず皆が笑ってくれたり、面白いものが作れる仕事に就けたらいいな、とずっと考えて

いました。大学在学中に美術やプログラミング塾のアルバイトをしていたことから、子供たちに関わる玩具や雑貨の仕事も楽しいのかなと思い始めました。そこで自分自身で業界を沢山調べて現在の勤務先にエントリーしました。現職に就けたことは、とても幸運なことだと思っています。

自分のアイデアがいずれ商品に

現在私はカプセルトイ、いわゆるガチャの立案から開発までを一貫して担当しています。著作権キャラクターの場合は、企画立案⇒版權元への問い合わせ⇒試作⇒量産して発売、という流れで工程が進みます。仕事を通じて好きなアニメやキャラクターに関わり、世界を広げるお手伝いが出来るのは光栄だと思いますし、とてもワクワクして楽しいです。また、自分が発案したことをプロの原型師に作ってもらい形になって、それが店頭に並ぶのを目にできる夢のある仕事です。カプセルトイは旬が命なので、多くは開発・企画から半年～一年弱くらいで世に出ます。ミスが起きないようにスケジュール管理にはとても気を配っています。

自分自身の成長の為に
アピールする場を作ることが大切

『好き』の軸を
みつけよう!!

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： 商品企画、商品開発、企画プランナー

関連業種： カプセルトイ 雑貨 玩具

好奇心とモノづくりの知識が 強力な武器になる

SNSなどでガチャを作ってみたいという方の投稿を多く見かけます。私自身もそうですが、この仕事は好奇心旺盛な人が向いていると思います。それに加え、こだわりを持って作れる職人性や期日を守って進行できる真面目さなどそれぞれのメンバーが得意なことを活かして仕事をしています。もし企画やデザインの仕事を考えているのなら芸大や美大に進学するのも一つですし、商品企画は門の広い職業です。おもちゃやキャラクターが好きという気持ちがあればチャレンジできる仕事です！

自分の好きなことを アピールする努力を！

自分のやりたいことや好きなことを伸ばすと強みになると私は思っています。そしてそれをアピールすることも重要だと思います。今の時代は自分から発信できる場所が沢山あり、そこに思わぬチャンスが眠っている場合もあります。外部の方に見てもらえることでフィードバックがあり、それが自分自身の成長にもつながっていくのではないかと思います。

モノづくりに必要な
プロダクトデザインの基礎を体得。

【進路支援課】042-637-8716



@TokyoZokeiUniv



@tokyo_zokei_univ_official



Tokyo Zokei UNIVERSITY



IT・メディアの分野で 活躍する先輩

CGモデラー

東京工科大学

メディア学部 卒業

株式会社

サイバーエージェント

山村 公威さん



好きを 極めろ!

「好き」の気持ちを大切に、
eスポーツビジネスの最前線へ

この仕事について
もっと知りたいとき



関連キーワード: eスポーツ、ゲーム、企画営業

関連業種: イベント運営 ゲーム事業 営業

幼い頃からブレずに追い求めた 「好き」をかたちにした仕事

幼稚園の頃からゲームが大好きで、1日10時間プレイすることも珍しくありませんでした。高校生の時にパソコンを購入したことでさらにゲームにのめり込むようになり、ゲーム内のランキングで上位に食い込んだこともあります。その頃から、時代の流れでユーチューバーやプロゲーマーが職業と認められるようになってきたこともあり、次第にゲームを仕事にすることに対して両親の理解も得られるようになりました。こうして、大学でもゲーム制作や企画を学べることになり、大学3年生の時に、インターンシップで出会ったのが今の会社でした。今振り返ると、学生時代に培った「ゲームへの愛」と「学び」が、一つの道のように続いているように感じます。実は最近、学生時代に出席した東京ゲームショウに、会社として出展しました。幼い頃から夢見ていたことを仕事にできた実感が込み上げてきて、なんだか感慨深かったですね。

偶然のチャンスで得た、 世界を目指す視点

大学時代、イギリスで働いていた父親のもとで3ヶ月

間違った経験は、私の夢に大きく影響しています。現地でeスポーツの大会を観戦し、日本との熱量の違いと世界の広さを肌で感じました。私は『MARVEL』が好きで、「同じように世界を震撼させたい」「自分のコンテンツを作りたい」という夢があったのですが、その思いがさらに強くなりました。日本だけでなく、世界を視野に入れて、自分の「好き」を仕事に変えていこうと本格的に思えたきっかけですね。

ゲームにかける「熱量」で、 人の心を動かしたい

営業活動において、最も重要なのはゲームにかける「熱量」だと思います。クライアントに企画を提案する際、ただイベントの概要を説明するだけでは相手の心を動かすことはできません。「これだけの人が集まり、こんなに熱狂的な雰囲気になる」といった具体的なビジョンを、自身の経験をもとに熱く語ることが大切です。実はこの営業の仕事を手を希望したのは、より良いコンテンツを作るには、まずは売る経験が必要だと考えたからです。プレイヤー・制作者・営業担当という多角的な視点があれば、どんな現場でも戦っていけると思っています。さまざまなアプローチから自分の夢を叶えようとするこの「執着心」のようなものも、ゲームへの熱量の大きさと並ぶ自分の強みかもしれません。

未来を見据えつつ、 今を全力で生きよう

将来の仕事に繋げられるチャンスは、今この瞬間にもあります。私は学生の頃から没頭したゲームが今の仕事に直結しています。もし好きなものがあるなら、それを極めることを恐れないでください。そして、早い段階からさまざまな可能性を調べ、目標を持つことをおすすめします。そうすれば、その目標から逆算した選択ができ、より効果的な進路選択が叶うでしょう。好きなことを突き詰めれば、道は開けます。自分の可能性を信じて、全力で突き進んでください。



好きなことを極めて、自分の将来を切り開くための目標を持って頑張ってください。

あらゆるメディアの
プロフェッショナルを育成する環境

【広報課】0120-444-903

@tut_tweet

tut_koukaton.official



東京工科大学



先輩の声を
聞いてみよう！IT・モノづくり分野を目指す先輩
Interview

小林 翔さん

東京工科大学
工学部 電気電子工学科 4年(取材時)コーオペ実習と
学生フォーミュラから得た自信

大学で最も印象に残っている学びは二つあります。まず「コーオペ実習」です。コーオペ実習では、実際に企業からお給料をもらいながら就業体験をします。企業の一員としての責任感をしっかりと感じながら、社会に出た時に必要となるビジネススキルを濃く学ぶことができました。二つ目は「学生フォーミュラ

“自分のやりたいこと”がトコトンやれる環境

自己成長の要となったコーオペ実習や学生フォーミュラ活動での経験

活動」。私はプロジェクトリーダーとしてメンバーの進捗管理や外部企業との調整等を行いました。ここではスケジュールを自分で組み立てて動かしていく楽しさを覚えました。コーオペ実習とフォーミュラ活動での経験は私に“実社会でもやっていける！”という自信を与えてくれた貴重な学びとなりました。

コーオペ実習がきっかけの
一つとなった卒業研究テーマ

私は卒業研究で、電気自動車の『埋込磁石同期モーター』の制御に関する研究を行っています。コーオペ実習で得た経験が研究テーマを決める際のきっかけとなりました。実習ではプログラムのソフト設計に関わり、それがとても面白かった。自動車、プログラムの二つを研究できるものはないかと考え、教授からプログラム制御の研究を提案され“これだ！”と思いました。当時は卒業研究を見据えてコーオペ実習に取り組んだわけではないのですが、色々な経験が今に繋がることを実感しています。

やりたいことやり切る！

大学生生活は長い様であったという間です。だからこそ、やりたいことをトコトンやり切ってほしいと思います。私はコーオペ実習と学生フォーミュラ活動に尽力し、将来の道が新たに見つかりました。皆さんもやりきる何かを是非見つけてください。



東京工科大学

〒192-0982

東京都八王子市片倉町1404-1

【広報課】Tel.0120-444-903



加藤 心渚さん

慶應義塾大学
総合政策学部 総合政策学科 2年(取材時)ジェンダーバイアスを
探求する

私は高校2年生のときにNPO法人ジェンダーイコールの講演会に出席し、「女だから・男だから」という偏見が「ジェンダーバイアス」と呼ばれることを知りました。それは私が中学2年生の頃に生徒会長に立候補した際、「女の子に生徒会長が務まるの?」と言われたときのモヤモヤが言語化された瞬間。世界で行われているジェンダーバイアス

最先端の知見は社会を変える力になる

多様性を受け入れ誰もが自分らしく生きられるように

を是正する取り組みなどを知り、ジェンダー分野の学びを深めたいと思うようになりました。進学先の大学はワークショップを高校1年生で受けてから大学の総合政策学部を志望していました。

大学は多様性の交差点

大学に入って最初に感動したことは、学生それぞれの送ってきた人生がとても多様なことです。個人の関心や価値観もさまざま。授業では最先端の情報に触れられるので、折に触れて視野が広がります。たとえば「Chat GPTが生成した文章の著作権は誰のもの?」というテーマはとてもホットです。今は大学院進学、起業、就職という3つの進路をじっくり検討しています。誰もがジェンダーにとらわれずに自分らしく生きられる社会。そのために社会学としてのジェンダー学を極めて教育する立場になるか、自分がやりたいビジネスのために起業するか、まずは実績を積むために就職するか。ジェンダーバイアスは捨てて、悔いのない道を進みたいと思っています。

学生であることが価値

学生のうちに特にやってほしいことは、学生という身分をフル活用することです。会いたい経営者や学者がいたらどんどんアポを取ってみてください。「学生だから」と話を聞かせてくれる方がたくさんいらっしゃいます。社会問題に関心があれば興味がある分野の取り組みをしている方に会ってみるといいでしょう。将来にきっと役立つ多くの刺激と知見を得られますよ。



慶應義塾大学

〒252-0882

神奈川県藤沢市遠藤5322 (湘南藤沢キャンパス)

【学生支援グループ】Tel.0466-49-3409





経験から 自分らしさを追求する

【看護師に救われた祖母を見た】

私はもともと病院に通うことが多く、医療職への憧れは小さい頃から持っていました。決め手になったのは高校時代に見た祖母の入院。体を悪くして入院すれば心細くなります。そんなとき、病棟の看護師に優しく看護されていた祖母がメンタル面でとても救われている姿を見ました。「私も看護師になりたい。」将来の目標が定まり、大学を選び始めました。大学選びの条件として最初に考えていたのは総合大学であること。医師や卒業生など、様々な医療従事者の話が聞けることは総合大学の利点だと考えていました。数ある総合大学の中でも北里大学を選んだのは、留学プログラムが用意されていたからです。海外の看護を見ることで見聞を広めたいと思っていた私の好奇心にマッチしました。

【大学内外にわたる 手厚いサポート】

大学での学びは留学に授業、実習と盛りだくさんでした。2年生のとき、かねてより志望していた留学プログラムに

参加しました。行き先はUCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)。アメリカには専門的な行為を行う看護師も多くいます。たとえば麻酔は日本では医師の仕事ですが、アメリカでは看護師が行うことも。日本にも特定行為研修は持ち込まれていて、北里大学では積極的に研修が進められています。一番印象に残っている北里大学での学びは、元から関心のあった急性期の実習です。急性期病棟は手術前後の患者さんをケアする部門。患者さんの抱える不安に深くアプローチする経験ができました。実習先は北里病院が多く、医師や大学のサポートが手厚かったことを覚えています。

【チームとして、 リーダーとして働く】

私は北里大学病院の消化器外科病棟に勤めています。誰も手術は不安なものです。術前は患者さんが自身の準備を整えて手術に臨めるようにサポートします。術後は心肺などの状態が大きく変動するので、観察とケアを欠かしません。「術後」は続きます。合併症を防ぐためにリハビリをサ

チームで一丸となって、
患者の希望を叶える

北里大学病院

<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/nurse/>



北里大学

看護学部 看護学科 卒業

都立西高校 出身

嶋田 恵芽吏耶(えめりや) さん

ポートしたり、経過が思わしくなく、気分が落ち込んでしまった患者さんをチーム医療でサポートします。

【重い責任と大きなやりがい】

患者さんの「家に帰りたい」という希望を叶えられたときは嬉しいですね。日常生活の動作が難しい患者さんでも家に帰れるよう、どうすればいいのか、何が必要なのかなど、院内のあらゆる知識を動員します。北里大学病院では医療従事者同士の横の連携を密に取れていることが特徴です。看護師の中にも多くの専門性を持った看護師がいるので、患者さんにとってより良いケアに繋がられます。

【色々な現場を見てみて！】

高校生の時点で看護師に興味があるのであれば、ぜひ大学など、現場に足を運んでみてください。学生や働いている人の様子を見ることで「想像と違う…」と思うかもしれませんが、それでもOKです。視野が広がれば、自分が本当にやりたいことに一歩近づけるでしょう。

日々進化する医療に対応し
先頭に立って活躍する看護師を育成

【入学センター】042-778-9760

@Kitasato_PR

@KitasatoUniv



北里大学
Kitasato University



北里大学を卒業した先輩が携わる最先端医療の現場



刻々と変わる患者さんの体調をモニタリング。最近リーダーとして、他の看護師をまとめる役割も受け持ちます。心のケアも看護師の大切な仕事です。

AMBITIOUS
#368

この大学で仲間と切磋琢磨したい!

【高校の進路希望で 覚悟が決まった】

高校生のときに祖母が倒れました。私は何もできず、無力感と悔しさが込み上げてきました。「これからは大切な人に何か起きたとき、私が守る。」医療の道に進むことを決めました。看護師を選んだのは患者さんとの距離が一番近い仕事だから。患者さんに寄り添ってケアができる仕事を選びました。

【明るい大学で チーム医療に触れた】

大学選びのオープンキャンパス巡りで北里大学のキャンパスツアーに参加。実際に実習で使う設備などを案内してくれた学生さんがとても元

気で、人柄に惹かれました。「ここで仲間と切磋琢磨したい。」北里大学を志望しました。入学後、2年生の実習先は地域包括支援センター。糖尿病の患者さんが栄養について学ぶサポートを行ったり、栄養士のアドバイスを受けて家族向けに栄養指導の資料を作ったりしました。それは憧れのチーム医療に触れる経験でした。

【チームで子どもと向き合いたい】

目指しているのは小児科です。子どもは心も体も未発達。病気と向き合うこと自体が難しいこともあります。私は大人とは違うアプローチが必要な小児科に興味を持ちました。

医療従事者全員で患者さんと向き合うチーム医療を通して、看護師の立場から貢献したいと思っています。また、実習中に看護師を信頼して笑顔で話す患者さんを見ました。「私も安心して命を託してもらえような看護師になりたい。」看護師は学ぶことや知るべきことが多く、今は勉強一本で頑張っています!

【誰かのため、と考えてみて】

まだ目標が決まらない人もいるかと思いますが。そんなときは、誰かのために、自分に何ができるのかを考えてみると視野が広がるでしょう。強い目標ができれば、壁にぶつかっても前に進めます。

この業界・
仕事をを目指す
大学生に
聞く!

学ぶ

北里大学



あのときの悔しさをバネに、
チームで人を守る看護師になりたい

北里大学 看護学部 看護学科

都立小松川高校出身 島田 みのりさん 2年(取材時)





人間性豊かにおもいやる心を持った医師でありたい

東京慈恵会医科大学

産婦人科学講座

(厚生労働省 医政局 研究開発政策課に出向経験あり)

<https://www.jikei.ac.jp/>

<https://www.mhlw.go.jp/index.html>



東京慈恵会医科大学

医学部 医学科 卒業

細谷 聡史さん

「生きる」を感じられる勉強

医師になりたいと思った理由は親戚に医師がいたこと、医師は医療と研究の両方ができることからです。医学部入学後、産婦人科の実習で初めてお産の現場を経験し感動しました。生命を扱う医療に改めて魅力を感じ、産婦人科医を目指すようになりました。医学部では座学から実習と、学ぶことがとても多くありました。しかし、医学は自分の体のことも含めて、勉強したものがまさに明日使える知識。私にとって医学の勉強は「生きる」を感じられるものでした。また得た知識は必ず患者さんの為になるという気持ちにさせてくれるものでした。

多様な視点で 女性の人生を考える仕事

医師として様々な経験をしています。まず産婦人科医としての現場の仕事です。生命の誕生から生命が失われるところまで、女性の一生を診るという意味で責任を感じます。

次に不妊治療に関わる再生医療の研究です。治療法が無い不妊症を再生医療によりどうすれば治すことができるのか考えます。最後は行政の経験です。行政の立場から再生医療をどう発展させることができるかを考えます。医療現場から一步引いて国の目線で医療を俯瞰的にみることができます。やっていること全ては患者さんのため。「多様な視点で女性の一生を診ていく。」ここにやりがいを感じます。

苦労を厭わない人 思いやりのある人

どのような人が医師に向いているかを考えたとき、苦労を厭わない方が向いていると言えます。もちろん勉強も最大限必要です。しかし勉強ができる、できないというよりは、分からないことを自ら調べて出来るようにしようとする向上心の方が大切だと感じます。また、人間性豊かな人であることもとても大事です。知識があるだけでは医師は務まりません。医療スタッフとのチーム

ワークを大切にしながら患者さんの気持ちを汲み取る仕事です。相手の立場になって対応できる、おもいやる心を持つことが医師には必要です。

人間性豊かな人となることを意識して

私にとって医師は天職です。診療するだけではなく、研究の道もあり、いろいろな勉強ができる、そして何よりも人の為になる仕事であると言えるからです。医学部はとても価値のある学部だと思います。しかし、医師になるために勉強だけをやってほしくありません。学校の部活動など、学生のうちに多くの経験を積み、友人や家族との思い出をたくさん作り、人間性豊かな人となってほしいと思います。私自身も中学から大学まで野球部でチームワークを経験したことで人間的に成長できたと思っています。人間性豊かな医師がたくさん世の中に出てきてほしいと思います。



学校法人 慈恵大学
THE JIKEI UNIVERSITY



東京慈恵会医科大学 建学の精神
「病気を診ずして病人を診よ」

〔医学科入試係〕0570-053333

あらゆる医療現場で活躍できる看護師を目指す

コロナ禍という逆境から 見つかった夢

高校生のころにコロナ禍となり、毎日ニュースでコロナ患者に対応する医療現場の様子が報道されていました。そこで奮闘する看護師の姿はかっこよく、自分も看護師として人の力になりたいと思うようになりました。コロナ禍という大変な時期を経験したことが、将来の夢を持つきっかけになりました。

大学附属病院のある大学で 学びたい

看護師になりたいという夢が見つかったからは、より多くの医療現場を経験し、専門的な知識を深められる環境で学びたいという思いが強まりました。

大学附属病院をもつ順天堂大学では、最先端の医療を身近に感じながら学ぶことができ、六つの附属病院での実習を通じて、豊富な臨床経験を積める点に大きな魅力を感じ、進学を決めました。

心に響いた先生の言葉

1年生の時、現役で活躍されている看護師の先生から「看護師としての使命感を今から持って日々を過ごすことで、必ず実力はつく。勉強の中で辛いことがあっても、今の夢に向かって突き進んでほしい」と言葉をいただきました。看護師を目指す私たちを全力で応援してくださる姿に感動し、その言葉は今でも私の支えになっています。

辛いときは先生の言葉を思い出して乗り越え、将来、立派な看護師となった姿を先生に見せられるよう頑張りたいです。

経験全てに意味がある

学生の皆さんに、すべての経験には意味があるということを伝えたいです。私は一見マイナスに思えるコロナを経験したことで夢を見つけました。それ以来、医療系のドラマは必ずチェックするなど私生活にも変化がありました。受験勉強など辛いことも、きっと意味のある経験です。どうか前向きに乗り切ってください。

この業界・仕事を目指す大学生に聞く!

学ぶ

順天堂大学



知と技、そして
“仁”の心ある看護師へ

順天堂大学 医療看護学部 看護学科

都立板橋有徳高校 出身

渡邊 翔さん 2年(取材時)



【代表】047-355-3111



@juntendo_nurse



@juntendo_nurs

病気だけでなく、患者さんに向き合える医師になりたい

きっかけはボランティア活動

医療の道が視野に入ったのは、高校2年の夏のボランティア活動でした。小児科に入院している患者さんのご家族が滞在する場所で、掃除などの手伝いをしました。この時に、患者さんやご家族の心境に触れ、皆さんに少しでも元気になって欲しいという思いが芽生えました。元々人体解剖や、医療に関して興味はあったので、医療の道を目指すことにしました。

高校時代から積み重ねていた 自主自学の精神

自ら学び、自らの責任で決断するという大学の教育理念が自分に合っていると感じました。また、キャンパスが西

新宿にあるため、日本全国から多くの患者さんがいらっしゃるという利点もあり、進学を決意しました。大学では部活動がとても盛んですが、だからといって勉学に手を抜くことは決してありません。友人たちと同じ方向を向きながら、努力を積み重ねることの大切さを教えてもらっています。

患者さんと

どのように向き合うのかを知る

医療プロフェッショナリズムという授業があります。これは医療の知識の部分ではなく、患者さんや社会から信頼を得るために、どのように向き合い、接していくのかを学ぶ授業です。患者さんのこと以外にも、チーム医療に関して、またダイバーシティについて

の理解を深めていきます。これらは今後、自分が医師になる時に必要になってくるスキルだと思います。

手遅れだから、と あきらめないで

高校2年の出来事をきっかけに、医学部を目指そうと思いました。皆さんも、医療に興味があるのに、「文系にいるから」「成績が悪いから」という理由であきらめないでほしいと思っています。後悔しないためにも、日々挑戦することが大事です。そして医療は日々進歩し続けています。私自身も、より良い治療を提供できるよう日々努力し、そして誰よりも患者さんに向き合える医師になりたいと思っています。

この業界・仕事を目指す大学生に聞く!

学ぶ

東京医科大学



高度な知識と技術を持った
“最高水準”の医師の育成を目指す

東京医科大学 医学部 医学科

栗山 芽衣子さん 6学年(取材時)



【アドミッションセンター】03-3351-6141

入試は大学の メッセージ

あなたの力が最大限発揮できる入試を選んでいますか？

近年、多様な能力をもつ人材の獲得を目的に、大学は複数の入試方式を準備しています。
入試方式が多様化したことで、受験生も入試のプランを組むことが難しくなっていることが特徴です。

東京都市大学では…

本学では4つの大きな枠組みの中で、多様な学生を受け入れるために、様々な入試制度を設定しています。
各入試制度では、調査・志望理由書・小論文・面接・科目試験などを組み合わせ、総合的に評価して選抜します。
つまり、受験生の力が最大限発揮できる入試を選ぶことが、実はとても重要です。

■東京都市大学の特徴的な入試（一例）

総合型選抜

例：学際探究入試

女子枠も含めた異なる3つの方式

学校推薦型選抜

例：公募制②グローバル志向型

英検2級以上で他大学と併願可

共通テスト利用入試

例：5教科／6教科 基準点型

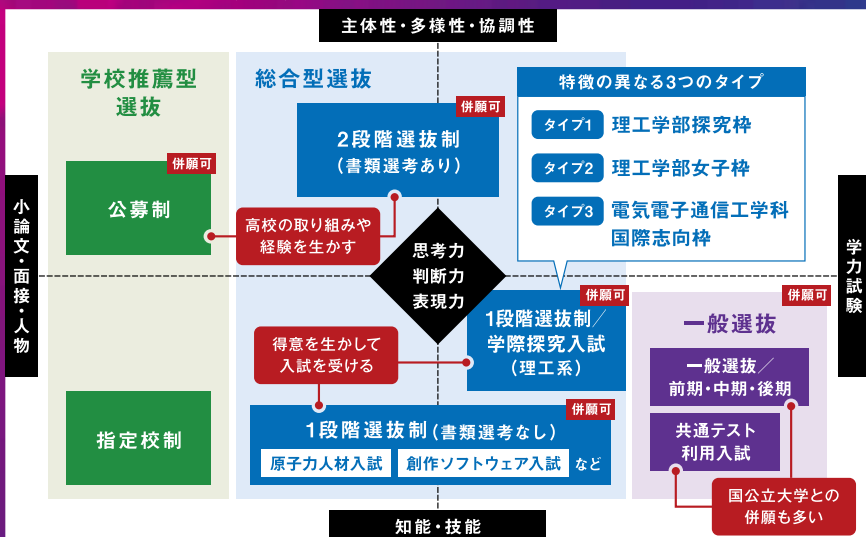
基準点以上で必ず合格！

一般選抜

例：前期（探究問題・共テ併用型）

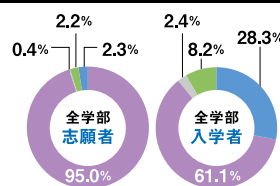
共テ2教科＋探究総合問題

■入試で求められる能力（一例）



■都市大の志願者／入学者の割合

理系を屋台骨とした本学は、
一般選抜（共テ利用）を狙えば良い？



志願者合計5%が
入学者の38.9%を占める！

一般選抜（共テ含む） 一般選抜（共テ利用）
学校推薦型選抜 総合型選抜
その他

※令和5年（2023）年度入試実績／入学者実績

入試の詳細は
こちら ▶▶▶

※2026年度入試の情報は
こちらから



東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY
(旧 武蔵工業大学)

8学部の幅広い学問領域

●理工学部 ●建築都市デザイン学部 ●情報工学部 ●環境学部
●メディア情報学部 ●デザイン・データ科学部 ●都市生活学部 ●人間科学部

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 | TEL: 03-6809-7590 (部署代表) | <https://www.tcu.ac.jp>